



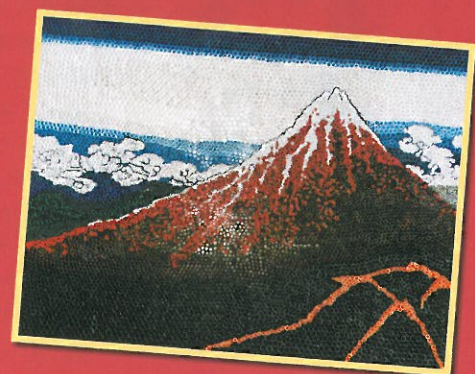
創立 40 周年記念特大号



ばらの丘通信

No.21 2014年11月1日 社会福祉法人つちや社会福祉会

法人創立40周年記念式典
第10回ばらの丘文化祭



TSUCHIYA-HOME and ROSE HILL



祝 創立 40 周年を迎えて



平塚市長 落合 克宏 様

社会福祉法人つちや社会福祉会の創立 40 周年を心よりお祝い申し上げます。

高齢化が進む現代社会において、皆様は、地域福祉の拠点として高齢者の方々の暮らしを支えるとともに、人と人とのつながりや温もりが感じられる社会の実現に向け、地域との交流を大切にしてくださいました。これまでの御尽力に敬意を表しますとともに、平塚市高齢者よろず相談センターの設置をはじめ、本市の高齢者福祉の推進に御貢献をいただいていることに対しまして、深く感謝いたします。

本市といたしましても、市民一人ひとりが地域の一員として尊重され、誰もが安心して生き生きと暮らせるまちづくりをより一層進めてまいります。豊富な実績と、地域における確かな信頼を築き上げてこられた皆様には、今後ともあたたかいお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、この 40 周年を契機に貴会がますます御発展されますことを祈念いたしまして、お祝いのごことばとさせていただきます。



家族会 会長 原 修治 様

創立 40 周年おめでとうございます。これも、故人となられた前理事長、水島貞さんをはじめスタッフの皆さんのご努力の賜物と思います。

ローズヒルにお世話になっている私の母は、土屋に生まれ・ずっと土屋で過ごして 96 年です。認知症が進んでいますが、心の中で感謝し、喜んでいるのではないかと思います。

今後も地域の宝として・諸施設の核として益々発展されることを祈念致します。



つちやホーム ご利用者代表 石塚 愛子 様

40 周年おめでとうございます。私は 68 歳から縁あってつちやホームでお世話になっています。気が付けば今年で 26 年目です。土屋は緑に囲まれた自然豊かな所です。ホームでは様々な行事があり、楽しみながら参加しています。一泊旅行で行った箱根や三谷温泉は良い思い出になりました。規則正しい共同生活と仲間との交流があるので、今でも元気です。理事長、施設長、職員さんに支えられてきました。感謝の気持ちでいっぱいです。



理事長 水島 米子

新たな前進

社会福祉法人つちや社会福祉会は昭和 49 年 1 月、初代理事長水島豊によって創立し、軽費老人ホームつちやホームを開設、本年 40 周年を迎えました。その間平成 4 年第 2 代理事長水島貞によって、特別養護老人ホームローズヒル、ローズヒルケアセンターを、翌 5 年在宅介護支援センターを開設、地域に密着し、いつでも即応できる開かれた施設として歩んで来ました。今があるのは、行政、地域、ボランティア、そして私達を取り巻く実に多くの方々との絆と、常にご利用者ご家族、地域にしっかりと向き合い、すべての方々の幸福を願い努力を惜しまぬ多くの職員の働きがあったことに篤く感謝致します。

少子高齢化が予測を大きく上まわり福祉のみならず医療政策も併せた大きな改革のまっただ中にあります。社会福祉法人のあり方が問われている事を真摯に受け止め、社会のセーフティーネットとして、また共助社会における地域を力強くささえる福祉拠点となるよう専門性を発揮し事業強化しなければならぬとの思いを強くしております。

誰もが迎える人生の終焉を穏やかに、**ありがとう**、と言えるように。





ローズヒル 施設長 水島 圭一

つちや社会福祉会は、おかげさまで40周年を迎えることができました。これも、ひとえにご利用者・ご家族の皆様、行政、地域福祉関係、ボランティア等の皆様によるご理解、ご支援の賜物でございます。

開設より40年。人に例えると、ちょうど働き盛りの年代です。創業の頃、日本が右肩上がりの成長を続けていた時代からすると、社会情勢も移り変わり、高齢者の福祉サービスは措置制度から、介護保険制度へと大きな改革が行われ、法人のあり方も、より地域に開かれ自立性と存在意義のある経営が求められるようになりました。

40歳になったつちや社会福祉会は、はたしてこれらのご期待に、どれ程応えられているでしょうか。この節目に、いま一度、創業の思いに立ち返り、ご高齢者の明るい豊かな生活と地域の安心を支えるために、更にまっすぐな気持ちで取り組まなければと身の引き締まる思いでございます。今後とも、私どもつちや社会福祉会へのご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、40周年の御礼を申し上げます。



つちやホーム 施設長 谷 章子

40年前、法人の創立とともに「つちやホーム」は事業を開始しました。高齢者の「人間性豊かな文化と安らかな老後の居場所」として船出をしたホームは、高齢化の大きなうねりの中で少しずつ変化をとげました。入所される対象者の変化に合わせ、幅広い高度な支援内容を求められているのが現状であります。そんな時こそ、「自立支援」というつちやホームの原点に立ち戻り、職員一丸となってご入居者が生き生きと暮らせるお手伝いをしていくことが、私たちに与えられた使命だと感じています。

これまでの数多くの出会いへの感謝を忘れず、「これから」のつちや社会福祉会の新たなステージに向けて「まっすぐ一歩」踏み出していきたいと思えます。



ローズヒルケアセンター 施設長 石井 浩

法人創立から40年。その間には様々な社会の変化があり、その変化に沿って法人の事業運営も姿を変えてきました。中でも2000年の介護保険制度導入は大きな節目でありましたが、超高齢社会におけるこれからの大きな課題に対して、その制度もさらなる変革を求められています。私ども社会福祉法人としても、地域社会から何が必要とされているのか、法人として何ができるのかをしっかりと考えながら事業運営を進めていかなければなりません。

歳を重ねても住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らせるためのお手伝いをこれからもさせていただきたいと思えます。



永年勤続職員の言葉

振り返って考えると、長い年月働くことができたのも、歴代理事長が培ってきた法人のあるべき理念、方針を念頭に置き、職場の先輩方、皆様のご指導、ご協力があったからこそだと思います。ご指導いただいたことを後進に伝えることで、いままでのご恩に報いたいと思います。そして法人のさらなる今後の発展を願って、微力ながら一層の努力をしていきたいと思えます。



社会福祉法人つちや社会福祉会のあゆみ



1974年1月

まっすぐ歩こう



初代理事長
水島 豊

社会福祉法人つちや社会福祉会 開設

1974年4月

軽費老人ホームつちやホーム事業開始

1984年



創立10周年記念感謝の集い

1985年 つくば科学万博開催

2011年7月



水島 米子 理事長就任

2011年6月



被災地宮城県気仙沼市へ介護職員派遣

2011年 東日本大震災

2006年4月



地域包括支援センターひらつかにし開設
平塚市から委託を受け、地域の身近な相談窓口として開設

2004年



創立30周年記念式典



2014年9月現在



新時代に向け、更なる飛躍！

2012年 東京スカイツリー開業

1987年8月



水島 貞 理事長就任

1988年 青函トンネル開通

1992年2月



ローズヒル・ローズヒルケアセンター竣工式
平塚市初の「認知症専門棟」としてメディア等で紹介される

1992年2月
特別養護老人ホーム・ローズヒル事業開始

1992年4月
デイサービス・ローズヒルケアセンター事業開始

1993年4月
在宅介護支援センター事業開始

1993年9月 皇太子徳仁親王と小和田雅子様 結婚の儀を挙げる

2002年8月



ISO 9001 認証取得祝賀会



2000年 介護保険制度 施行

2001年 皇太子夫妻の長女 愛子内親王が誕生

1999年



1999年11月
介護老人福祉施設・短期入所生活事業所として指定

1999年12月
通所介護・訪問入浴介護・居宅介護支援事業所として指定

1994年5月



創立20周年記念式典

1995年 阪神・淡路大震災

1998年 長野冬季オリンピック 開催



ロゴマークへの想い

法人の経営理念であり、人生哲学である「まっすぐ歩こう」の精神を、創立当初に植樹され、今日までずっと施設の中庭で私たちを見守りながら成長してきたメタセコイアの木に託し、ロゴマークの中心に置きました。

皆さまにご安心いただける信頼性、誠実な心を意味する青と、施設周辺の恵まれた自然環境を表現する緑のラインを、この地域の地形にみため、そこへ「まっすぐ」伸びたメタセコイアの幹として、つちや社会福祉会のイニシャルTを取り入れました。

澄み渡る空に野鳥が飛び交う豊かな自然環境と、つちや社会福祉会へ集われる皆さまを象徴して、2羽の鳥を配し、思いやりの気持ちと愛情の意味を込めたピンク色と、素直、謙虚、嘘のない経営精神を表す青で色づけました。

これまでご支援くださいました皆さまへの感謝の気持ち、そしてこれからも、皆さまとともに「まっすぐ」歩いて行こうという創業の精神を守りながら、つちや社会福祉会が継承されていくことを願い、40周年を機にロゴマークを制定いたしました。

第40回ばらの丘文化祭 創立40周年 カメラスケッチ



平塚音楽家協会



声楽家 岩崎由紀子様



老人会の出し物



永年勤続表彰





つちやホーム

つちやホームは60歳以上の方を対象とした自立型の施設で、現在60代～90代の約50名が生活しています。掃除・洗濯等の身の回りの事は各自で行い、手の届かない所をお手伝いしています。

旅行や毎月様々な行事や16種類のクラブ活動があり、余暇活動が充実しています。8月に初めて和食レストランの夢庵へ行き昼食を食べました。好きな物を選ぶ楽しみがあり、大好評でした。心身共に健康な生活を楽しんでもらえるように職員一同サポート致します。



ローズヒル

ローズヒルでは、毎日快適でゆとりあふれる日々を、心を込めてお手伝いしております。食事から入浴、趣味活動にいたるまで心のゆとりと潤いを皆様の笑顔に結び付け、自立した活力ある生活をおくられることを目指しております。



ローズヒルケアセンター

●通所介護（デイサービス）

日帰りで昼間過ごしていただき、健康のチェックやお食事、入浴、レクリエーションなどを提供しています。送迎付なので、足の不自由な方も安心してご利用でき、仲間同士での交流もできます。

●居宅介護支援事業所

利用者一人ひとりが在宅で快適に生活できるよう、介護関係のプロであるケアマネジャーがみなさんの状況やご希望をお聞きしながら介護サービスをコーディネートします。

●配食見守りサービス

お一人暮らしや老夫婦世帯の高齢者の方に栄養バランスのとれた食事を届け、見守りもします。

高齢者よろず相談センター

高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるようにお手伝いするための身近な相談窓口です。介護の相談、健康に関する相談などなんでもお聞きします。

施設
ライ
ン
ア
ッ
プ



社会福祉法人つちや社会福祉会

事業報告

平成 26 年 3 月 31 日現在

●利用者数

(単位：人)

	ローズヒル	ローズヒルケアセンター	つちやホーム
	特養	通所介護	軽費
男	13	20	16
女	40	53	30
計	53	73	46

●利用者平均年齢

(単位：歳)

	ローズヒル	ローズヒルケアセンター	つちやホーム
	特養	通所介護	軽費
男	76.98	88.35	76.9
女	87.6	87.32	88.3
全体	85.39	87.6	84.3
最高齢	98	101	97

●介護度分布

	ローズヒル		ローズヒルケアセンター		つちやホーム	
	特養		通所介護		軽費	
	人	%	人	%	人	%
自立	0	0.0	0	0.0	23	50.0
要支援	0	0.0	10	13.7	12	23.9
要介護1	4	7.6	21	28.8	11	2.2
要介護2	5	9.4	23	31.5	0	23.9
要介護3	8	15.1	15	20.5	0	0.0
要介護4	21	39.6	1	1.4	0	0.0
要介護5	15	28.3	3	4.1	0	0.0
計	53	100.0	73	100.0	46	100.0

●ローズヒル 介護度別本入所待機者状況

(単位：人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明	合計
22	31	42	43	35	0	173

●ローズヒルケアセンター・高齢者よろず相談センター

月	通所介護	居宅介護支援	介護予防支援	配食サービス
	延利用者数	ケアプラン作成件数	予防ケアプラン作成件数	延配食数
4	552	123	102	650
5	562	127	106	608
6	510	132.5	107	645
7	599	139	111	651
8	582	136	110	692
9	566	136.5	108	586
10	628	133.5	110	701
11	630	129	111	637
12	592	133	114	574
1	584	133.5	112	603
2	609	125.5	112	666
3	610	122.5	107	682
計	7,024	1,571	1,310	7,695

決算報告

(単位：円)

●財産目録

平成 26 年 3 月 31 日現在

勘定科目	金額
I 流動資産	370,537,107
II 固定資産	1,033,620,364
基本財産	757,224,684
その他の固定資産	276,395,680
資産合計	1,404,157,471
III 流動負債	16,336,481
IV 固定負債	30,057,500
負債合計	46,393,981
差引純資産額	1,357,763,490

●事業収支計算書

平成 26 年 3 月 31 日現在

勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業活動収入	505,786,905	特別収支差額	- 4,394,485
事業活動支出	498,281,983	当期活動収支差額	2,900,869
事業活動収支差額	7,504,922	前期未繰越活動収支差額	277,118,777
事業活動外収入	4,484,680	当期末繰越活動収支差額	280,019,646
事業活動外支出	4,694,248	基本金取崩額	0
事業活動外収支差額	- 209,568	基本金組入額	0
経常収支差額	7,295,354	その他の積立金取崩額	0
特別収入	0	その他の積立金積立額	0
特別支出	4,394,485	次期繰越活動収支差額	280,019,646

●貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	370,537,107	流動負債	16,336,481
現金預金	314,616,925	固定負債	30,057,500
未収金	50,014,570	負債の部合計	46,393,981
前払金	1,893,260	純資産の部	
仮払金	4,012,352	基本金	740,003,825
その他の流動資産	0	国庫補助金等特別積立金	214,461,992
固定資産	1,033,620,364	その他の積立金	123,278,027
基本財産	757,224,684	次期繰越活動収支差額	280,019,646
その他の固定資産	276,395,680	純資産の部合計	1,357,763,490
資産の部合計	1,404,157,471	負債及び純資産の部合計	1,404,157,471

施設からのお知らせ



吉沢福祉村（ひだまりの里）のご協力により、つちやホーム正面玄関に箱庭ができました。懐かしい里山の風景に心が癒されます。ぜひ、見に来て下さい！

編集後記

早くも当法人は創立 40 周年を迎え、この節目に「ばらの丘通信」の編集に携わることに大変嬉しく思います。「法人の歩み」で汲み取れるように、その時代に求められたニーズに応え、実行することで多岐にわたる福祉分野で十分に力を発揮できる成熟された法人と感じさせられました。私たちも、この法人で、微力ながら 1 ページずつ歴史を作り上げていくことを誇らしく思います。 広報委員一同



第 21 号 平成 26 年 11 月 1 日発行

■発行 〒 259-1205 平塚市土屋 2196 番地 1 社会福祉法人つちや社会福祉会 理事長 水島 米子
 ■編集 広報委員会 ■電話 0463 (58) 6677 FAX 0463 (58) 0429 ■URL <http://www.rosehill.or.jp>